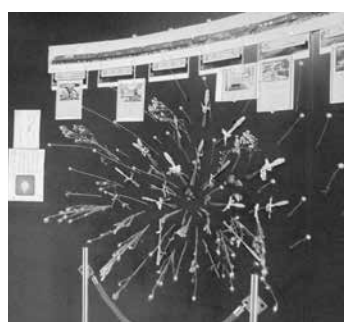


# 市民ギャラリーだより

No. 3  
R7年2月

防府市文化協会 発行



## 『市民ギャラリー』を活用して

### 貴団体の活動の発展を！

防府市文化協会

会長 岡本早智子



防府市文化協会では、会員の皆様が日々進めておられる様々な文化活動の自主的な発表や交流の場として、アスピラートの一階に、「市民ギャラリー」を防府市より整備して頂き、その運営を任せられて三年目を迎えるところですが、この事業は、当会にとりまして、まさに、会員のやる気を引き出し、参加団体の成長・発展にも繋がっていく、と実感され、「二石二鳥」以上の成果が上がりつつある事、業となり、大変喜んでいるところです。

展示の仕方にも様々な工夫が見られますが、他団体とのコラボや交流等では、色々新しいアイディアが得られると共に、新しい仲間が出来る場合も有るようです。

会員の皆様には、益々積極的に、「市民ギャラリー」を使ってみて下さい。

まだ、ご活用のない団体やグループの皆様におかれては、先ずは文化協会にご加入頂き、「市民ギャラリー」を覗いて見て下さい。

きっと、何か活動の新しいアイディアが生まれますよ。

今年も、三月六日～十日には、「防府市で、初めて取り組む「野村望東尼筆展」」を、春の企画展として開催しますが、その後も、次々と申し込みが来ているようですので、計画があれば、どうぞお早目にご連絡をお願いします。

## 市民ギャラリー

防府市美術連盟 会長 山田 史生

防府市民ギャラリーには、三つの素晴らしい推薦ポイントがあります。一は、場所が駅・PKから徒歩二分と、インフラに優れている上、会場が一階に位置している事です。二は、会場が三年目と新しく設備(空調・照明・備品)が万全に整っている事。三は、会場(三十坪)使用費が安価である事です。

私は現役会社員時代、転勤族で、全国主要都市のギャラリーを訪れたり、個展を開催する経験が多く会場費には詳しいです。平均的には、会場費は一日一万円から二万円前後、プラス空調費が常識でした。この三つの特徴あるギャラリーは、日本ではトップクラスの施設です。友人からは羨ましがられます。

市民だけが使用できるこの大いに恵まれた施設を、市民の皆さんは是非御活用されるを事をお勧め致します。



## 押田政夫遺作展を開催して

江崎 節子

令和六年四月十七日から五日間、叔父の遺作展を開催しました。

叔父から預かって十六年、個人で管理するにも負担を感じるようになりました。過去、日展に数回入選していますが、下関赤間神社の「耳なし芳一」像が代表作と考え、地元の方に残した作品を是非みていただきたいと、文化協会に相談しました。

私にはハードルの高い準備作業でしたが、沢山の助言で開催することが出来ました。長年の希望が叶い、感謝しています。

普段、倉庫に並べただけの作品達は、会場で個々にライトが当たると、それぞれに何かを主張しているように感じましたし、壁が白いのでその影も効果的でした。ブロンズ像は、高さ八十センチ位で小さく備品の展示台、テーブルをお借りできて助かりました。今回、興味をもって来て下さる方があるかどうか不安でしたが、市外からの来場者も多くほっとしました。

開催中、散歩の途中図書館と市民ギャラリーを覗くのを日課にしている方が来られて、この「ちよっと行ってみよう」という期待感が文化活動の広がりになるのだと実感しました。



## 「わたしのこだわり展」2024 「トワイライトエクスプレス瑞風」って何？

石光 修

防府市文化協会より、この秋から防府駅に停車することが決まった、「トワイライトエクスプレス瑞風」という列車について、より多くの市民の方々にも、どんな列車であるのかを知ってもらうためには、どのようなことをしたらよいでしょうか？と、相談を頂き、鉄道好きということも相まって、次のようなことを企画いたしました。

「地形模型」のエリアには、「瑞風」の全容を見てもらえるように、十両編成にもなる全編成の海側、山側の窓配置の面白さと共に、各車両のインテリアを一部紹介する、全長3m以上の側面写真を貼り、その周辺には各地のおもてなしの様子や、専用バス、貴重な試運転時の様子など、普段、見ることもない写真も貼ってみました。

九月十四日～十六日は、ギャラリィ内にてジオラマや、詩、ブリザーブドフラワーに、鉄道模型を絡めて、「瑞風」の魅力を展示いたしました。

鉄道模型では、体験運転も実施し、忠実に1/150に縮尺された「瑞風」の模型を走らせました。ご覧になられていた方々から「きれいなね」「かっこいいね」のお声を頂き、やってよかったなど、感慨深いものでした。

これからも、頂いた貴重なご意見を参考に、当会の発表、交流の場として活用させて頂きたいと思っております。この度は、当会の発表の機会を与えて頂き、ありがとうございます。当ギャラリィの益々のご発展をお祈り申し上げます。



## ラベンダースティック作り

日本園芸療法学会認定 上級園芸療法士

JHS上級ハーブインストラクター

熊安 悦子

私達ラベンダーの会は、ハーブに興味を持つ方たちの集まりです。

令和六年七月六日午後二時から防府市文化協会主催の市民ギャラリィに於いてラベンダースティック作りを致しました。

各自ラベンダーを育て、催し開催時には都合の良い人たちが集まって、市民へのハーブの普及活動を行い、ハーブでより生活に潤いや楽しみを感じていただきたくこの様な活動をしています。

「良い香りがして素敵な物が作れてとても幸せです。」と参加者の声です。

又、近年問題になっている遊休農地の活用法としてもハーブの生命力溢れる植栽を活かして、五感を刺激する園芸療法にも活かしていくように頑張っています。

今回、ラベンダースティック作りを市民ギャラリィで発表と体験の催しができたことに深く感謝申し上げます。

市民ギャラリィは防府駅天神口から一分のアクセスで一階にありますので、足のご不自由な方もスムーズに入館可能ですので、楽しいハーブクラフト作りに沢山のご参加が頂けると嬉しいです。

今後も、市民ギャラリィでできることの催しを開き、参加者の皆様との対話をしながら、明るい防府市を目指していきます。今後とも宜しくお願い致します。



## はじめての市民ギャラリィでの煎茶会

日本礼道小笠原流煎茶 代表 清水 純子

この度は初めて市民ギャラリィで煎茶の席を設けることができました。

市民ギャラリィでの開催状況が、市広報へ掲載されることもあり、思いがけず多くの方々がお越し下さり、煎茶を楽しんで頂く事ができて、私達も有意義な時間を過ごす事ができました。

「久々の煎茶席で懐かしい人達に出逢えて嬉しかったです」と言われた事で、煎茶席を設けて良かったと思えました。

反省する事も沢山ありましたが、これからの活動に生かしていきたいと思っています。

文化協会の方に背中を押して頂き感謝しております。



## 鯉のぼり展示

工房 英 出穂 純子

市民ギャラリーにお越しの皆様へ癒しのひと時を・・・と思い和紙の鯉のぼりを展示させて頂きました。

我家の蔵の中で何十年も眠っていた和紙の鯉のぼり、広げてみて大きい姿に驚き、弟や妹と共に試行錯誤しながら展示する事ができ明るく広いギャラリーで優美に泳いでいる姿は幸せそうに見えて私達も幸せです。癒しは心のスパイスなので大切に・・・。

これから市民ギャラリーのイベントに参加させて頂き、多くの方々に足を運んで頂ける様に願っております。



## わたしのこだわり展

杉山 恵美

今回、この市民ギャラリーに出させていたたいたことは、点と点がつながり、導かれていたような気がします。

防府での活動は、私にとって必要で、自分の住むまちで作品をみてもらえるという喜びも、楽しさも味わえるとともに、学ぶこともあり、人とのつながりも学ぶことができました。

私は、いつもはちがうことをしていますが、この時間は宝物となっています。他のメンバーもそうだと思います。

市民ギャラリーという場所ができ、新しい作品を作ろうという意欲も出て、励みになっています。こんな場所ができたことは、防府市の文化の底上げをし、うもれている人々たちを見つけることができ、いろんな世代にこれからも受け入れられる場所であってほしいと思います。

## 活動展開二題

ほうふ水彩画倶楽部 代表 青木 靖男

その一 「地形模型の部屋活用」

「市民ギャラリー」開設に引き続き、隣接する「地形模型の部屋」が、小規模作品等展示スペースとして利用できるようになりました。私たちは早速、「冬から春へ展」「瑞風関連展示」「雪の絵展」等に当スペースを利用していただきました。円形・黒壁・通り抜けというユニークな会場は解放感があり、気楽に立ち寄れる言わば「ストリートギャラリー」として好評で、今後ますます各団体の利用が旺盛になることが期待できます。

その二 「未加入団体へのアプローチ」

私どもの団体は、他団体との共催併催を積極的に進め、団体間の交流促進（横展開）を図っています。現在さらには一歩踏み出し、未加入団体にも共催併催のお声かけをするように心がけています。この目的は、文化協会活動を共に実体験していただき、当協会加入団体数増に寄与することです。微力ながらも、私たちの活動が少しでもお役に立てば幸いです。



## 市民ギャラリーと広がる輪

自由律れん句 檸檬 佐川智英実

数人で自由律句（頭に浮かんだ一行）を順番に作る、自由律れん句会をしています。体験だけの参加で、俳句が変化された人もいて、楽しいです。自由律句をしていなくても参加可能ですので、ぜひ一度体験してみてください。

れん句会メンバーで、協会会員でもあるポーセラーツ講師の阪田千恵美さんは県外から防府に転居されました。以前に住んでいた所の文化協会は、とても遠い存在だったのですが、防府市文化協会の、市民に寄り添う活動がとても新鮮に感じられ、感動されたそうです。私自身も阪田さんの言葉から、恵まれた環境で活動していたのだと、改めて知ることが出来ました。洗練されたポーセラーツ作品をいつも展示して頂いていますが、このことが創作活動の大きな励みになっていると言われていました。市民ギャラリーの参加により、いつも新たな出会いや学びを頂いています。これからもよろしくお願い致します。



## 防府市中学校作品展

防府市美術連盟 副会長 石川 近利

一昨年に引き続き昨年十二月四日(水)～八日(日)の五日間、防府市美術展と同時開催として、アスピラート一階市民ギャラリーにおいて防府市内全中学校の協力を頂き、第二回となる作品展を開催することができました。今回も九十八点と多くの出品があり、五〇〇名を超える来場を数えることができました。

入場者は受付を終え会場に入ると真正面に大道中学校の立体作品である「いの丸」がお出迎えし、取り囲むように沢山の絵画の力作が並びました。また、同室には市内光元教室のかわいい幼児や小学生の作品四〇点も加わり、大変にぎやかな作品展となりました。

今後も市民が支える文化・芸術の場の一つとして、幼児から小中学生、また市内高校生以上の防府市美術展への参加へと繋がり、更に防府市の文化・芸術活動を身近に感じて頂き、防府市民が誇れる企画として楽しみにし、お友達や家族、おじいちゃんやおばあちゃんにも感動して頂ける作品展へ育つことを心から願っております。



## 「ハワイアンキルト展示・

### ハワイアンフラ発表」開催

イクエフラPDC 代表 福田 育恵

令和六年十二月十四・十五日にイクエフラPDCのメンバーによる、ハワイアンキルト展示とハワイアンフラ発表を市民ギャラリーで行いました。

出演者にお金をかけずに楽しくする。それを志しにイクエフラPDC会員の皆様にご協力していただき、会場づくりから始まりました。一日中、ああでもない、こうでもないといんなで知恵を出し合って素晴らしい会場が出来ました。

青い空、青い海、ヤシの木、白い砂浜はないけどハワイアンキルトとフラで使用するレイでハワイを感じる会場づくりが出来ました。

フラダンスはハワイから国境を越えてやってきました。大自然と愛をテーマで踊ります。

コロナ禍が終わったとはいえ、続く円安でなかなか以前の距離感には戻りませんが、少しでもハワイを近くに感じてほしく市民ギャラリーを利用しました。

参加された方からは是非来年も開催して欲しいとの好評の声を聞き令和七年十二月開催予定しました。令和六年と同様に令和七年も楽しいハワイアンにご来場をお待ちしております。



## Flowerギフト展

フラワーサークルプリフラ

代表 藤田 初美

令和六年十二月十九日～十二月二十二日の四日間、市民ギャラリーを使用させていただき、Flowerギフト展を開催しました。お正月とクリスマスが近いこともあり、しめ縄、クリスマスギフト品の作品作りのレッスン体験もさせていただきました。お花は贈り物としても、とても喜ばれ見えていてもとても幸せな気持ちになります。プリザーブドフラワーは、生花にはないずっと飾ることが出来るお花としてもっと、たくさんの方に見て作品作りを体験していただき、お花の美しさが続いていくプリザーブドフラワーの魅力が伝わるといいなと思います。レッスン作品作りに励んでおります。

今回このような機会をいただき一人でも多くの方にお花、プリザーブドフラワーの魅力が伝わったのではないかと思います。このような機会をいただき誠にありがとうございます。今後もお花、プリザーブドフラワーの魅力を広めていけるよう精進してまいります。



## 初めての日本舞踊を楽しもう！

なぎさ之会 代表 村上 恭子

なぎさ之会は、毎週一回白石呉服店の蔵と西浦の自宅稽古場で日舞の活動をしています。四歳から七〇歳代の方まで年齢に関係なく稽古に励んでいます。

このたび、初めて市民ギャラリーを会場にお借りして日本舞踊の体験会を開催させて頂きました。小さい子どもたちは、「人間っていいな」を、小・中学生は「ふるさと」を。高校生や大人の方は「田原坂」を群舞で踊りました。広く明るい会場だったのでみんな気持ちよく何度も踊ることが出来ました。

気軽に会場を覗いて見学して頂き希望者には体験できる浴衣等を用意して、シート張りやパイプ椅子の運搬等子どもたちと一緒に会場作りをして待ちました。

今回は、初めてのことでPRをほとんどしていなかったため、盛況とはいきませんでした。これを機会に、再度開催に向けて工夫を重ね、防府市の日本文化を少しでも深めていきたいと考えています。最後に、不慣れな私どもに懇切丁寧に教えていただき準備や運営に協力していただいた防府市文化協会に感謝申し上げます。



## たくさんの高評価

### 木彫り教室「D. Family」

代表 土田大二郎

木彫り教室を開講して十年目。とても素敵で設備と環境も整った会場で展示させて頂き本当に有難く感じています。

期間中に他のイベントと開催が重なったこともあり大変多くの来場者がありました。これもまたこの市民ギャラリーの魅力だと思います。ある程度の人数の作品が展示出来る会場はあまりないですし、出入り口が2カ所あるので来場者の流れも滞りなく良かったと思います。

来場者アンケートの結果、たくさん高評価を頂くことが出来ました。作品展を楽しんで頂けたようですし、木彫りに興味を持って教室への参加を希望された方もいらっしゃいます。

これからも木彫り教室の生徒さんたちと木と向き合い、楽しく癒される時間を共有しながらまた次回の作品展に向けて制作をしていきたいと思っています。木彫り教室は生徒数に定員もありますので興味がある方はまずお問い合わせ頂けたらと思います。この度の作品展にご協力頂いた皆様、そしてご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。



## 河村正之の絵を鑑賞する会

代表 兄部 純一

河村正之画伯の五十年に及ぶ画業をたどる展覧会を、十一月の同期会に合わせて開きました。普段は自宅やオフィスに飾られ、人目に触れることのない絵たちⅡ同級生八人の所蔵する八〇年代から二〇一〇年代までの三八点を持ち寄り、新作のペン画と共に時を超えて展示するという変わった趣向の展覧会でした。

時代や年齢によって、私たちの考えや感じ方が変わっていくように、画家の描く絵も変容を遂げます。学生時代から現在に至るまでの絵が一堂に集まったら、どんな景色か広がるのか、化学変化が起きるのかと楽しみました。

前日、画伯は、遠くは京都から送られてきた絵たちを、いくつかのグループに分け、数時間かけて市民ギャラリーの壁に展開させていきました。

それぞれの絵が持つ、固有の時間が溶け出して隣りの絵と響き合い、同時にギャラリー全体がひとつの空間として、ハーモニーを奏で始める不思議な感覚を味わうことができました。

僅か五日間の短い展覧会でしたが、三〇〇人近くの方々にお運びいただき、一回限りの私たちの試みを愉しんでいただきました。市民ギャラリーとご協力いただいた皆さんのお陰です。ありがとうございました。



## 能と能面

面龍会 代表 松田 龍仁

平成二十二年六月文化振興奨励賞（美術工芸）の部、受賞から早や十五年、市民ギャラリー、アスピラートにお世話になり能面展を何回も行いました。この度は文化協会ご支援のもとアスピラート一階の「市民ギャラリー」にて令和七年一月四日から三十日の長い日数にわたり展示し、その期間二回の講演の時間を頂きました。誠に有難く思います。

当会は防府天満宮第一鳥居内左に工房を構え、十数面を展示しその中に能面教室があり指導しています。教室は習う人の都合と当方の良い日に教えていて、初めは取り付きにくいようで次第に深入りし一面出来ると宝が出来楽しみにかわります。材料は面の木、刀その他徐々にそろえます。皆さん体験してみませんか。



## 「わか翠グループ」

草月流 代表 原 美也子

市民ギャラリーでの花展二回目、今回は「花を楽しもうチェロといっしょに」と言うテーマのもと、私達わか翠グループが花展を企画し二〇二五年二月一日～二日に開催いたしました。チェロと、いけ花のコラボ今迄にない企画で、沢山の人の花の作品もじっくり見てもらい、嬉しい時間でした。

草月のいけ花は、「花はいけたら人になる」又いけ花は、立体造形であり、どこにでも、誰にでもいけられるという教えです。

今回市民ギャラリーで、チェロ、花、どの様に構成すれば良いか悩みました。

一般の人に、草月の花を理解し、そして、美しさをわかってもらうため、今回「リメイク花展のコーナー」を設けて、沢山の人の関心を示してもらい・・・草月流って楽しいですね、と言って、身近に感じてもらえた事、人々の生活の中に花がある生活で、心が豊かになる事を、感じてもらえれば良いな、と思っています。

花を習っている人に限らず、一般の方にも、マンネリ化にならない様、草月の特色等を生かした花展を見てほしいと思っています。市民ギャラリーは、場所、大きさ、とっても良いと思っています。



## 市民ギャラリーを利用して

キャンバス夢 代表 吉田 博

今回、昨年続きアスピラート内の市民ギャラリーで「キャンバス夢」展を開催しました。開催期間は、十一月十五日から十七日の三日間です。

我々のサークルは、牟礼公民館で油絵を中心とした会員六名での活動です。今回の作品展でも広い市民ギャラリーを満たすため、一人あたり最低五作品を目標に出展してもらうことにしました。今まで画き貯めた作品のオンパレードといったところでした。おまけに十一月一日から二九日までは、地形模型の展示場でもキャンバス夢の作品展示を開催していましたのでアスピラート1Fはさながら「キャンバス夢」の満開状態でした。

開催期間中には市民文化祭協賛事業である、マンドリン演奏会や市民文化祭の生け花展やお茶席、玉祖焼きの展示会などがあり、相乗効果により、昨年を大幅に超えた来客に恵まれました。

特筆すべきことは、来場者の中から念願の新規会員が生まれたことでした。

文化協会には、毎年チャンスをいただき感謝に堪えません。来年度は、新規会員を含めた活動がはやくも待ち遠しい限りです。





## 赤川修司による講談風読み聞かせ

赤川 修司

令和六年上旬、演じたい三つの作品「水戸黄門漫遊記・羽衣・源平合戦」が決まり上演出来る場所を探していました。防府市文化協会の門をたたくと快く、ギャラリーで演じることを承諾していただきました。ギャラリーの下見をしている時、エレベーター横の舞台が気になり使わせて頂く事になりました。「板の上は落ちつく」というのが正直な感想です。それと本番の一日前、準備として使わせて欲しいとお願いすると、了承して頂きました。

この二つがとても大きく、出来るぞと確信しました。お客様が入って下さるか不安がありました。お客様が初めて作ったチラシが良く出来たのでたくさん宣伝する事が出来ました。只、一週間前の日に最愛の母が亡くなり、二月の頭からずっと喉の調子が悪く、試練を与えられました。前日の舞台作りには友人が仕事を休んで手伝いに来てくれました。本番当日は準備したものを只々やるだけでしたが「感動した。」という言葉

葉をたくさんいただきました。中には静岡から駆けつけてくれた友人もいて片付けまで手伝ってもらいました。準備の大切さを携わって頂いた方、全員に感謝の思いでいっぱいです。母も喜んでくれて



## 初めての短歌作品展示の成果

防府市民短歌会 会長 羽仁 和子

今年初めての試みとして、アスピラート地形模型の部屋で短歌作品の展示をさせて頂いていました。作品は防府高校書道部の生徒さんをお願いして快諾を得た。防府高校からは毎年市民短歌大会に多くの応募があり、そのご縁もあって今回引き受けて下さったことに深く感謝している。迫力あるすばらしい書は、歌の世界をひろげ観る人を魅了するに違いない。

展示した短歌作品は、令和六年度の市民短歌大会の一般の部、児童生徒の部の優秀作や県内外の大会での優秀作のほか、出前授業を行った小学校の児童の作品もある。また、市内の三つの短歌会の紹介コーナーも作り、会員の作品を色紙や短冊で掲示し、短歌会の紹介用案内チラシも用意した。

展示の準備は大変であったが、出来上がった見事な壁面を見て、皆が協力して作り上げたことに大いに感動した。また、市民の皆さんが興味を持って観て下さり、案内チラシや歌集を持ち帰って下さったこともわかった。地形模型の部屋が通り抜けできることも作品に目を向けてもらえる一因になったのであろう。いずれにしても、市民の皆さんに短歌に興味を持っていただいたことは喜びであった。

今回、短歌関係者でない防府高校の生徒さんと協力して展示を成功させたことは、短歌の世界を広げ、多くの人の心に短歌を浸透させられる場ができたということではないか。そう考えると来年もこの展示をしないではいられなくなった。来年の展示の時期は、作品の書はどうしようかなど、頭の中は楽しい課題でいっぱいである。



## 習字作品発表会で利用して

漣月会 代表 田中 美鈴

当団体では、毛筆硬筆の稽古と書道や漢字文化を取り入れた自由作品制作を行っています。

毎年、一年かけて学習・制作した成果を天神ピアにて発表していましたが、天神ピア閉館後、場所探しに苦労していた時に市民ギャラリーを知りました。

会場はきれいで展示用具も多く、照明まで工夫して展示することができます。また、床や壁の養生をすれば、墨や水を使ったワークショップも開催でき、当日は子供たちに楽しんでもらえました。

来場者に感想を伺うと、アクセス面で特に良い反応がありました。近隣の駐車場のシステムが統一されたこと、雨天でも車から濡れずに来られること、アスピラート内という分かりやすい場所であることなどの点で利用しやすいとの声をいただきました。

防府市民として、このような施設が利用できることは大変嬉しく、また文化活動を応援して下さる方がいるのだと心強く感じます。今後も市民ギャラリーが盛んに利用され、認知度が上がることを願っております。





## 令和7年度 市民ギャラリー情報予定

※防府野村望東尼会による「野村望東尼真筆展」

3月6日(木)～10日(月) 10時～17時(最終日16時)

※連月会による作品発表会「ワークショップ 和紙を染めてみよう！」

3月15日(土)～16日(日) 10時～17時 最終日15時30分まで

※着物の会による春の着物でおでかけ展示とアンティーク着物体験

3月20日(祝・木)～23日(日) 10時～15時

※Lucceによる「うたのコンサート」 3月30日(日) 14時～15時

声楽コンサート、書道展示もあります

※自由律れん旬仲間展

4月5日(土)～6日(日) 俳句画・水彩画・イラスト・デコアート

作品展示

※松野佑子マンドラミニコンサート 4月13日(日) 14時～15時30分

※(公財)日本郵趣協会防府支部による「切手展」

4月18日(金)～4月20日(日) 10時～17時(但し、最終日15時まで)

※第4回ソウルの会が贈るパステルアート3人展

4月28日(月)～5月5日(月) 10時～17時 最終日15時

パステルでお絵描き体験会(毎日先着4名) 材料費800円

※市民ギャラリー3周年記念

7・5 h z FIVE EXHIBITIONによる展示

5月9日(金)～5月18日(日) 10時～16時

※アトリエ陽だまり展 5月23日(金)～25日(日) 10時～15時

※第1回シュシュ展(防府美術連盟洋画の部小作品展)

5月30日(金)～6月1日(日) 10時～15時

※地形模型 わたしのこだわり展の皆さん 6月中

※わたしのこだわり展

6月6日(金)～8日(日) 10時～17時(最終日16時)

ジオラマ作品の展示・詩の展示ほか

※オカリナの楽しみ 6月22日(日) 10時～16時

ウクライナ難民と子供食堂支援 10時～11時と14時～15時

オカリナ・マリンバ・ピアノ演奏します。

※ラベンダーステイック作り

6月29日(日) 9時～11時30分 材料費必要

※ラベンダーの会によるラベンダーを使った作品展示 地形模型7月中

※池坊青年部花展

7月5日(土)～6日(日) 9時～17時 最終日16時まで

※サマーコンサートwith水彩画

7月19日(土)～7月20日(日) 10時～15時30分

水彩画展示 音楽演奏・13時30分～15時

※ゆかたの帯結び展「着くずれのお直しもします」

7月25日(金)～7月27日(日) 10時～15時

「防府おどり」のある26日(土) 10時～20時展示。

※特別企画展 萩焼陶芸作家大井正則、美智子陶芸50年記念展

7月31日(木)～8月10日(日) 10時～16時 10日のみ午前中まで

8月2日(土) 14時～「陶芸と私」

ギャラリートーク

※ウインドシンフォニー 8月11日(月・祝) 14時～

※ラベンダーの会 8月17日(日)「エッグポプリを作ろう」

※第7回写真展 9月10日(水)～22日(月)

※オカリナの楽しみ

9月14日(日) 10時～16時30分 ウクライナ難民と子供食堂支援

10時～11時と14時～15時 オカリナ・マリンバ・ピアノ演奏します。

※色鉛筆の仲間展 9月17日(水)～23日(火・祝)

※ほうふグリーンアワード2025 10月8日(水)～10月20日(月)

※令和八年干支「午・うま・馬」小作品展

10月23日(木)～26日(日) 書道作品の展示

※プリザーブドフラワー展 10月30日(木)～11月2日(日)

※モダンアート女性3人展 11月6日(木)～9日(日) 10時～15時

※キャンバス夢絵画展

11月13日(木)～16日(日) 9時～16時 初日のみ13時～

牟礼公民館絵画サークル絵画展

※グループ源による源展

令和7年11月27日(木)～30日(日) 10時～17時但し、最終日16時まで

水彩・油絵作品展

※中学生作品展 12月3日(水)～7日(日)

※イクエフラPDCによるフラダンスと展示

12月12日(金)～14日(日)

※あくまでも予定ですので、詳細にはその月の市広報及び文化協会の

ホームページをご覧くださいと幸せます。

## 「市民ギャラリーにある魅力」

防府市文化協会 事務局長 岡崎久美子

令和六年度もお陰様で多くの文化・芸術に関わられる方々に支えられて市民ギャラリーにおいて、年間五十五以上の事業が展開されました。これは、毎月四から五事業が実施されていることを意味し、市民文化が益々盛んとなり大変有難い事です。

市民ギャラリーでの活動や新しく本年度から始まった地形模型の部屋での展示も大変好評で、毎月、季節の絵画や創作作品等を会員による工夫された作品を飾って頂き、ご鑑賞される方々の心が癒されております。会員の皆さまの熱心な活動のお陰で、少しずつ市民ギャラリーの認知度も上がり、アスピラートの中を通行する方も増えたとお聞きし、大変喜ばしいことと存じます。

また、年一回は、「防府市の文化芸術を永きにわたり牽引してくださっている方々や防府市に関わる文化人を多くの方々に知ってほしいという目的」で、防府市内の文化芸術に深く関与している方々等を特別企画展として実施しております。

令和四年のオープン時は、藍染作家である鮎村秀子様の藍染展、令和五年には、書道家の富永嶋山様の書道展、令和六年には、防府市にお墓があり、高杉晋作等とともに幕末に新しい世を目指して、志を繋いだ尼であった野村望東尼様の直筆の和歌を展示しながら、歴史の深さを探究する野村望東尼真筆展、そして、令和七年には、萩焼陶芸作家の大井正則様、美智子様ご夫妻の陶芸五十年記念展を七月三十一日（木）～八月十日（日）まで実施する予定です。どうぞ、皆様でお誘いあわせの上、アスピラート一階市民ギャラリーへお越しください。

『人と人をつなぎ、生きる力をもちあう』市民ギャラリーの魅力が、会員や防府市出身の文化芸術にたけた方々と身近に接する機会をもたらし、仕事を通して、私の人生の中で生涯忘れることのできない貴重な体験をさせて頂いていることに感謝致します。

## R6. 9・23 豪華寝台列車 “瑞風” 初来日のようす



## 〈地形模型の部屋と 市民ギャラリー〉



## お知らせ

令和七年一月六日付にて、防府市文化協会は、防府市役所新庁舎本館五階文化振興課内に無事移転致しました。令和七年度の会員の入会手続き及び市民ギャラリーの使用許可申請書の提出等は、こちらへどうぞお越しください。お待ちしております。

詳細につきましては、文化振興課が作成されておられる当協会のホームページをご覧ください。

市民ギャラリーでの活動の輪が益々広がり、新たな元気パワーや笑顔に出会える事を楽しみに、皆さま方の益々のお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。

## 編集委員

山田 史生 石川 近利  
石川 雅子 岡本早智子  
岡崎久美子

## 発行

〒七四七-八五〇一  
防府市寿町七番一号  
防府市役所 本館五階  
文化振興課内

TEL 〇八三五（二六）六八四一  
FAX 〇八三五（二三）四三〇〇

## メールアドレス

hofubunkyo@tiara.ocn.ne.jp